

# 幼・保等、小、中連携の推進

## 1 幼・保等、小、中連携ステップの推進状況について

今年度は、4月当初の熊本地震により、幼・保等、小、中の連携の計画を例年とは大きく変更せざるを得ない学校も多かったのではないかと思います。

そのような中、全小・中学校にキッズウィークの取組に参加していただきました。午後10時前就寝についても取り組まれたことと思いますが、残念ながら、昨年度よりもできている子どもたちの割合が低下しています。

午後10時前就寝については、特に学校だけでなく、家庭の協力がなくてはなりません。熊本地震の後だからこそ、日常の規則正しい生活を行うことが、子どもたちの安心できる生活を取り戻すことにつながります。根気よく取り組んでいきましょう。

### (1) 幼・保等、小、中連携ステップについて

下の表は、県教育委員会が示している幼・保等、小、中の連携のステップです。自校のステップの進捗状況について確認し、更なるステップアップをめざしましょう。

子ども同士の交流だけに終わらず、中学校3年生までを見通し、系統立てた連携カリキュラムを見直し・改善しつつ、活用していきましょう。

この他、熊本県教育委員会ホームページには、「つなぎ はぐくむ くまもとの幼・保連携Q & A」(平成22年3月)など、多くの資料が掲載されています。是非、御活用ください。

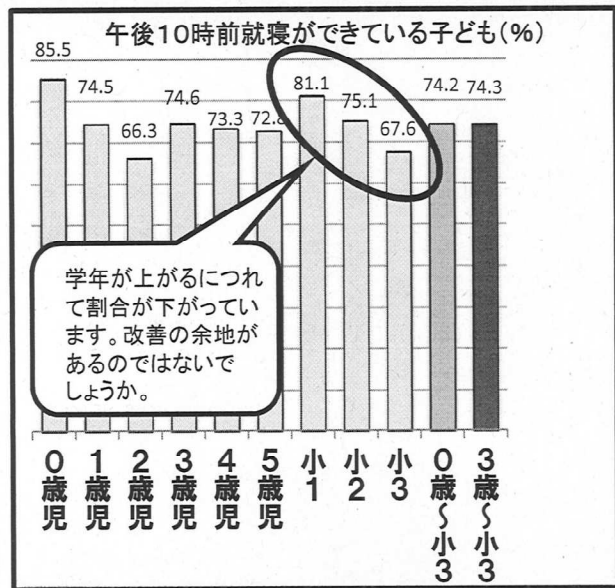
自校の取組の状況をチェックしてみましょう。

<b>幼・保等、小、中連携ステップ</b>				
熊本県教育委員会				
取組 機関	連携の視点	ステップ	連 携 内 容	チェック欄
各 機 関 で	情報連携	ステップ1 a	幼稚園・保育所等、小学校の教員・保育士が入学前に子どもの実態を交換し合う。	
		ステップ1 b	幼稚園・保育所等、小・中学校が教育・保育目標、経営案、行事、お便り等を交換し合う。	
	行 動 連 携	ステップ2	子ども間の交流を行う。	
		ステップ3	幼稚園・保育所等、小・中学校の教員・保育士が相互に教育・保育を参観し合い、事後に意見を交換し合う。	
		ステップ4	参観を通じた学びから、指導・援助方法を工夫改善する。	
		ステップ5	各校・所(園)に連携担当者を位置付け、幼・保等、小、中連携の全体計画、年間指導計画を作成し、連携・交流を教育課程に位置付けるなど、計画的に実践する。	
		ステップ6	子ども間交流におけるチーム体制を明確にして取り組む。	
各 連 絡 協 議 会 で	目 標 連 携	ステップ7	連携推進のための組織(連携協議会等)を作る。	
		ステップ8	上記会議を中心に実態を調査し、地域ではぐくむ子ども像を明確にする。	
		ステップ9	目指す子ども像をはぐくむ連携カリキュラムを作成する。	
		ステップ10	子ども像の育成を目指して連携カリキュラムに沿って、地域で取り組む。	

## 2 平成28年度就学前教育振興・充実に係る実態調査の結果から

平成28年10月に、就学前教育実態調査が実施されました。

調査方法	保護者アンケートによる調査					前年度比
調査項目	午後10時前就寝ができている子どもの割合(%)					
年齢年度	H24	H25	H26	H27	H28	
5歳児	74.9	70.6	73.4	76.4	72.8	-3.6
小1	81.2	79.4	79.7	82.3	81.1	-1.2
小2	74.3	72.9	74.1	76.4	75.1	-1.3
小3	65.7	64.8	66.9	68.4	67.6	-0.8
全体	73.0	71.1	73.3	75.7	74.2	-1.5
3歳～小3全体				75.9	74.3	-1.6



今年度は、残念ながら全体的に午後10時前就寝ができていない子どもの割合が昨年度より低下しています。「早寝・早起き・朝ごはん」の取組の推進をよろしくお願いします。

調査方法	担任の観察による調査																			
調査項目	発達に応じたあいさつのできる割合(%)																			
	9割以上					7割以上9割未満					7割未満									
年齢年度	H24	H25	H26	H27	H28	H24	H25	H26	H27	H28	H24	H25	H26	H27	H28	H24	H25	H26	H27	H28
5歳児	92.4	94.1	91.1	91.8	90.9	55.9	45.9	48.4	54.9	49.7	34.6	45.0	44.0	38.8	38.2	9.6	9.1	7.7	6.5	12.1
小1	91.4	88.4	88.5	88.9	83.5	29.7	31.0	26.4	28.6	17.7	59.7	59.5	62.7	59.2	66.4	11.4	9.5	10.9	12.2	15.9
小2	88.8	87.3	89.5	86.3	84.2	33.9	33.6	34.3	26.6	24.0	56.5	57.3	55.7	59.1	65.5	10.2	9.1	10.0	14.3	10.5
小3	88.4	85.6	87.7	81.5	78.9	41.3	30.4	34.9	26.3	23.7	52.4	59.3	57.1	64.2	64.0	6.9	10.3	8.0	9.5	12.3
全体	90.3	89.1	89.4	86.9	86.9	38.1	34.1	34.3	30.7	25.5	52.9	56.4	56.5	57.9	61.7	9.6	9.6	9.2	11.3	12.8

調査方法	保護者アンケートによる調査									
調査項目	朝食習慣(毎日朝食)の割合(%)					テレビ等の視聴時間(2時間未満)の割合(%)				
	H24	H25	H26	H27	H28	H24	H25	H26	H27	H28
5歳児	97.4	96.2	97.2	97.2	97.6	59.3	62.5	58.4	61.9	62.4
小1	97.8	97.1	97.7	97.5	97.2	66.4	67.0	67.3	68.4	68.0
小2	97.6	97.5	97.7	97.6	97.0	63.6	63.6	64.1	64.9	64.1
小3	97.2	97.3	97.1	97.4	96.7	60.9	61.4	62.2	62.3	61.7
全体	97.7	96.9	97.4	97.5	97.2	64.7	66.8	65.6	66.5	66.3

発達に応じたあいさつのできる割合が、どの学年も昨年度より低下しています。また、落ち着いて話を聞くことができる子どもの割合も、昨年度より低下しています。特に小学1年生は、10ポイント以上低下しています。

毎日、朝食を食べる習慣のある子どもの割合がどの学年も若干低下しています。テレビ等の視聴時間が2時間未満の割合については、5歳児以外は、低下しています。

今年度は、地震の影響で、「上益城郡の幼・保等、小、中連携セミナー」を行うことができませんでしたが、各学校での連携の取組の推進をよろしくお願いします。